

世田谷区立桜丘中学校 2 学年 国語	年間指導時数	140時間	学年	2	学級	A～G組
--------------------	--------	-------	----	---	----	------

1.学習の到達目標

学習の達成目標	言語による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質。能力を育成する。 (1)社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。 (2)社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。 (3)言語が持つ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。
使用教科書・副教材など	「国語 2」（光村図書）／「問題中心の新文法ノート」（浜島書店）／「学習の達成国語 2」（新学社）／「単元別漢字の学習 2」（明治図書）

2.学習指導計画及び評価方法等

学期	月	単元タイトル	学習のねらい	活動内容	評価の観点のポイント		
					知識・技能 ○は重点	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度 粘り強い態度で、問題解決に向けて自ら工夫、調整して取り組もうとしている。
1 学 期	4	見えないだけ	・抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。	1 詩を通読する。 2 好きな言葉や表現を発表する。 3 詩の特徴を生かして朗読する。	・抽象的な概念を表す語句の量を増やすとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ○この単元に出てくる語句を理解して活用できるようになる。		・進んで抽象的な概念を表す言葉について考え、今までの学習を生かして朗読しようとしている。
	4	アイスプラネット	・登場人物の心情や考え方が表れた語句に注意して読む。 ・登場人物の設定に着目し、人物どうしの関係や、それぞれの考え方を読み取る。	1 作品を通読する。 2 「ぐうちゃん」について整理する。 3 「ぐうちゃん」に対する「僕」の思いを読み取る。 4 「ぐうちゃん」に対する自分の思いをまとめる。 5 学習を振り返る。	・抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ○この単元に出てくる語句を理解して活用できるようになる。	・「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定のしかたなどを捉えている。	・積極的に登場人物の設定のしかたなどを捉え、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。
	4	問いを立てながら聞く	・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解する。 ・論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめる。	1 「友達の提案」を聞き、要点をメモする。 2 メモを基に、意見や根拠について検討する。 3 「上達のポイント」を読み、学習を振り返る。	・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。 ○この単元に出てくる語句を理解して活用できるようになる。	・「話すこと・聞くこと」において、論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。	・進んで論理の展開などに注意して聞き、今までの学習を生かして疑問点や確認したい点を考えようとしている。
	5	季節のしおり春	・抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。	・春の行事・暦に関わる言葉や、春の情景を詠んだ詩歌などを味わい、伝統的な言語文化に親しむ。	・作品の中の「春」を感じさせる言葉に着目し、情景を想像している。 ○この単元に出てくる語句を理解して活用できるようになる。		・伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして、積極的に語感を磨き、言語文化を大切にしようとしている。
	5	枕草子 自分流「枕草子」を書こう	・作者のものの見方や感じ方に触れる。 ・自分が感じる四季の趣と比べてみて、読み味わう。 ・目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にする。	1 「枕草子」を朗読し、古文を読み味わう。 2 作者のものの見方や感じ方を読み取る。 3 自分流「枕草子」を書く。 4 学習を振り返る。	・現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。 ○歴史的仮名遣いと現代仮名遣いの違いを理解している。 ○文学史的な位置づけを理解している。 ○この単元に出てくる語句を理解して活用できるようになる。	・「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、学習課題に沿って自分ならではの季節感を表す文章を書こうとしている。 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。	・進んで文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、学習課題に沿って自分ならではの季節感を表す文章を書こうとしている。
	5	情報整理の レッスン 思考の視覚化	・情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使う。	1 教材文を読み、情報を整理し、視覚的に表す方法を理解する。 2 問題1・2に取り組む。 3 学習を振り返る。	・情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。 ○この単元に出てくる語句を理解して活用できるようになる。		・学習課題に沿って、積極的に情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使おうとしている。

5	職業ガイドを作る	・多様な方法を用いて、さまざまな情報を収集する。 ・収集した情報を、図や記号などを用いて整理し、伝えたいことを明確にして書く。	1 調べる職業を決め、情報を集める。 2 集めた情報を分類・整理する。 3 紙面構成を考える。 4 下書きし、紙面を作る。 5 完成した作品を読み合い、感想を伝え合う。 6 学習を振り返る。	・情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。 ○この単元に出てくる語句を理解して活用できるようになる。	・「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。	・粘り強く多様な方法で集めた材料を整理し、学習の見通しをもって職業ガイドを作ろうとしている。
5	漢字1 熟語の構成 漢字に親しもう1	・第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使う。	1 教材文を読み、熟語の構成の種類について理解する。 2 練習問題に取り組む。 3 「漢字に親しもう1」に取り組む。	○第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ○この単元に出てくる語句を理解して活用できるようになる。		・学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
5	クマゼミ増加の原因を探る	・話や文章の構成や展開について理解を深める。 ・文章全体と部分との関係や、文章と図表の関係に注意して読む。	1 本文を通読する。 2 全体と部分の関係に注意して、構成を捉える。 3 文章と図表の関係に注意して、内容を読み取る。 4 考えたことを話し合う。 5 学習を振り返る。	・話や文章の構成や展開について理解を深めている。 ・文章の構成を図に表すことができる。 ○この単元に出てくる語句を理解して活用できるようになる。	・「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係などを捉えている。 ・「読むこと」において、文章と図表などを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈している。	・積極的に文章と図表などを結び付け、学習の見通しをもって考えたことを話し合おうとしている。
6	思考のレッスン1 具体と抽象	・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解する。	1 教材文を読み、具体と抽象の概念を理解する。 2 問題1、2に取り組む。 3 学習を振り返る。	・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。 ○この単元に出てくる語句を理解して活用できるようになる。		・学習課題に沿って、積極的に具体と抽象の関係について理解しようとしている。
6	魅力的な提案をしよう 資料を示してプレゼンテーションをする	・言葉には、相手の行動を促す働きがあることを知る。 ・話の構成を工夫したり、資料などを使ったりしながら、自分の考えがわかりやすく伝わるように話す。	1 提案内容を決めて、情報を集める。 2 効果的な話の構成を考える 3 プレゼンテーションをする。 4 プレゼンテーションを振り返り、よかった点や改善点を考える。 5 学習を振り返る。	・言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づいている。 ○この単元に出てくる語句を理解して活用できるようになる。	・「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫している。 ・「話すこと・聞くこと」において、資料や機器を用いるなどして、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。	・粘り強く自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫し、学習の見通しをもってプレゼンテーションをしようとしている。
6	漢字に親しもう2	・第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読む。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使う。	1 新出漢字を確認する。 2 練習問題に取り組む。	○第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ○この単元に出てくる語句を理解して活用できるようになる。		・学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
6	文法への扉1 単語をどう分ける？	・単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解する。	1 単語が幾つかの観点で分類されることを確かめ、そのうち「自立語」について学ぶことを理解する。 2 自立語の各品詞の性質などについて理解する。	○単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解している。 ○この単元に出てくる語句を理解して活用できるようになる。		・今までの学習を生かして、積極的に自立語について理解を深めようとしている。

6	メディアを比べよう メディアの特徴を生かして情報を集めよう 「自分で考える時間」をもとう	・情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使う。 ・目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得て、内容を解釈する。 ・観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考える。 ・目的や意図に応じて、多様な方法で集めた材料を整理する。	1 メディアを比べて、特徴を理解する。 2 目的や状況に応じたメディアの選び方を考える。 3 情報の受け取るときの留意点を考える。 4 学習を振り返る。	・情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。 ○この単元に出てくる語句を理解して活用できるようになる。	・「読むこと」において、目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得て、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、多様な方法で集めた材料を整理している。	・粘り強く観点を明確にして文章を比較し、学習課題に沿って目的や状況に応じたメディアの選び方を理解しようとしている。
7	短歌に親しむ 短歌を味わう 「書く」短歌を作ろう	・情景などを表す多様な語句に着目し、語感を磨く。 ・歌の内容について、知識や経験と結び付けて読み深める。	1 「短歌に親しむ」を通読し、短歌を朗読する。 2 短歌についてまとめる。 3 「短歌を味わう」を読み、内容や表現のしかたについて感じたことを話し合う。 4 「短歌を作ろう」に取り組む。 5 学習を振り返る。	・抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ○この単元に出てくる語句を理解して活用できるようになる。	・「読むこと」において、観点を明確にして短歌を比較するなどし、短歌の構成や表現の効果について考えている。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。 ・「書くこと」において、表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる短歌になるように工夫している。	・進んで短歌の構成や表現の効果について考え、学習の見直しをもって短歌を創作しようとしている。
7	言葉の力	・本屋文章には、さまざまな考え方が書かれていることを知る。 ・文章を読み、知識や経験と結び付けて考えたことを伝え合う。	1 全文を通読する。 2 文章を要約して、内容を捉える。 3 筆者の考え方について話し合う。 4 学習を振り返る。	・本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。 ○この単元に出てくる語句を理解して活用できるようになる。	・「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。	・進んで文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。
7	言葉1 類義語・対義語・多義語	・抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。	1 導入の課題に取り組み、言葉どうしの関係性について興味をもつ。 2 教材文を読み、類義語・対義語・多義語について理解する。	○抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ○類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解している。 ○この単元に出てくる語句を理解して活用できるようになる。		・今までの学習を生かして、積極的に類義語と対義語、多義的な意味を表す語句などについて理解しようとしている。
7	言葉を比べよう もっと「伝わる」表現を目ざして	・抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。	1 言葉を分類して、類義語を集める。 2 類義語を比較し、わかったことを話し合う。 3 夏休みに読みたい本のリストを考え、読書記録に記入する。	○抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ○この単元に出てくる語句を理解して活用できるようになる。		・今までの学習を生かして、積極的に抽象的な概念を表す語句の量を増し、語感を磨こうとしている。
7	読書を楽しむ	・本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かす。 ・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	1 教材文を通読し、さまざまな読書活動を知る。 2 「本の紹介合戦」を行い、感想を発表し合う。 3 夏休みに読みたい本のリストを考え、読書記録に記入する。	・本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。 ○この単元に出てくる語句を理解して活用できるようになる。		・本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを進んで知り、今までの学習を生かして、本の魅力や感想を共有しようとしている

	7	翻訳作品を読み比べよう 星の王子さま 読書コラム 「わからない」は人生の宝物 読書案内 本の世界を広げよう	・観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や表現の効果について考える。 ・文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりする。 ・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	1 二人の翻訳者による「星の王子さま」を読み比べる。 2 翻訳や外国文学について知る。 3 「本の世界を広げよう」を参考に、今後読みたい本を考え、読書記録に記入する。	・本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。 ○この単元に出てくる語句を理解して活用できるようになる。	・「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や表現の効果について考えている。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。	・進んで表現の効果について考え、学習課題に沿って二つの翻訳を比べて感じたことを発表しようとしている。
	7	季節のしおり 夏	・抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。	・夏の行事・暦に関わる言葉や、夏の情景を詠んだ詩歌などを味わい、伝統的な言語文化に親しむ。	・抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ○この単元に出てくる語句を理解して活用できるようになる。		・伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして、積極的に語感を磨き、言語文化を大切にしようとしている。
【1学期の評価材料】 「知識・技能」 ①積み重ねテスト（語彙・漢字・文法・表現技法・古文の基礎知識等） ②再テスト ③暗唱テスト ④ワークシート 等 「思考・判断・表現」 ①積み重ねテスト（読解・表現） ②聞き取りテスト ③スピーチ等の活動 ④授業観察 ⑤ワークシート ⑥ワークシート以外の提出物（作品その他） 等							
2 学 期	9	盆土産	・登場人物の言動や情景を表す語句に着目し、作品に与える印象を考える。 ・場面の状況を踏まえて登場人物の言動の意味を考え、人柄や心情を読み取る。	1 全文を通読する。 2 作品の構成を捉える。 3 登場人物の言動の意味を考える。 4 自分が捉えた作品の印象を伝え合う。 5 学習を振り返る。	・抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ○この単元に出てくる語句を理解して活用できるようになる。	・「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。	・粘り強く登場人物の言動の意味について考え、学習課題に沿って作品の印象を伝え合おうとしている。
	9	聞き上手になろう 質問で思いや考えを引き出す	・言葉には、相手の行動を促す働きがあることを意識する。 ・話の展開に注意して相手の思いや考えを受け止め、質問する。	1 インタビューの準備をする。 2 インタビューを行う。 3 学習を振り返る。	・言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づいている。 ○この単元に出てくる語句を理解して活用できるようになる。	・「話すこと・聞くこと」において、論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。	・粘り強く論理の展開に注意して聞き、今までの学習を生かして思いや考えを引き出す質問をしようとしている。
	9	表現を工夫して書こう 手紙や電子メールを書く	・敬語の働きを理解し、適切に使う。 ・相手や目的に応じて通信手段を選び、気持ちや要件が的確に伝わるように表現を工夫する。	1 手紙と電子メールを比較し、活用場面を考える。 2 伝えたい内容を決め、通信手段を選ぶ。 3 手紙や電子メールを書く。 4 学習を振り返る。	・言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づいている。 ・敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使っている。 ○この単元に出てくる語句を理解して活用できるようになる。	・「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。	・積極的に自分の考えが伝わる文章になるように工夫し、学習課題に沿って通信手段を選び、通信文を書こうとしている。
	9	[推敲]表現の効果を考える	・敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使う。 ・読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整える。	1 木本さんの手紙の下書きを読み、適切な文字や表記に書き改める。 2 より効果的な表現を考える。 3 学習を振り返る。	○敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使っている。 ○この単元に出てくる語句を理解して活用できるようになる。	・「書くこと」において、読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えている。	・粘り強く文章を整え、今までの学習を生かして手紙を推敲しようとしている。
	9	言葉2 敬語	・敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使うことができる。	1 導入の例文を読み、敬語の使い方について考える。 2 教材文を読み、敬語の働きや種類について理解する。 3 教材文を読み、敬語の組み合わせについて考える。	・敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使っている。 ○この単元に出てくる語句を理解して活用できるようになる。		・今までの学習を生かして、積極的に敬語の働きについて理解しようとしている。

10	漢字 2 同じ訓・同じ音をもつ漢字 漢字に親しもう 3	・第 1 学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使う。 ・抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。	1 教材文を読み、同じ訓をもつ漢字の使い分けについて理解する。 2 教材文を読み、同じ読みで意味の異なる言葉（同音異義語）の使い分けについて理解する。 3 P121の練習問題とP122「漢字に親しもう3」に取り組む。	○第 1 学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ○抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ○この単元に出てくる語句を理解して活用できるようになる。		・学習課題に沿って、積極的に同音異義語を理解し、漢字を読んだり書いたりしようとしている。
10	モアイは語る ——地球の未来	・意見を裏付けるための、適切な根拠の在り方について理解する。 ・自分の知識や考えと比べながら、文章の構成や論理の展開を吟味する。	1 全文を通読する。 2 文章の構成に着目し、内容を捉える。 3 論理の展開を吟味する。 4 筆者の主張に対する考えを文章にまとめる。 5 学習を振り返る。	・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。 ○この単元に出てくる語句を理解して活用できるようになる。	・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開について考えている。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。	・粘り強く論理の展開について考え、学習の見通しをもって筆者の主張に対する自分の考えを文章にまとめようとしている。
10	思考のレッスン 2 根拠の吟味	・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解する。	1 教材文を読み、根拠を吟味する方法を理解する。 2 問題1、2に取り組む。 3 学習を振り返る。	・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。 ○この単元に出てくる語句を理解して活用できるようになる。		・今までの学習を生かして、積極的に意見と根拠の関係について理解しようとしている。
10	根拠の適切さを考えて書く 意見文を書く	・自分の意見を支えるためのより適切な根拠の在り方について考える。 ・適切な根拠を選び、示し方や構成を工夫して、自分のいけが効果的に伝わる文章を書く。	1 課題を決め、分析する。 2 立場を決めて考えをまとめる。 3 反論を想定して、構成を考える。 4 意見文にまとめる。 5 意見文を友達と読み合う。 6 学習を振り返る。	・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。 ○この単元に出てくる語句を活用できるようになる。	・「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。	・粘り強く根拠の適切さを考え、学習の見通しをもって意見文を書こうとしている。
10	漢字に親しもう	・第 1 学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使う。	1 新出漢字を確認する。 2 練習問題に取り組む。	・第 1 学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ○この単元に出てくる語句を活用できるようになる。		・学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
10	[討論]異なる 立場から考える	・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解する。 ○互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめる。	1 テーマに沿って集められた①～⑧の事実を読む。 2 賛成・反対それぞれの立場の人が、①～⑧を基にどんな意見を述べるのかを考える。 3 学習を振り返る。	・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。 ○この単元に出てくる語句を理解して活用できるようになる。	・「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめている。	・進んで意見と根拠の関係について理解し、今までの学習を生かして異なる立場の人の意見を想定しようとしている。
10	立場を尊重して話し合おう 討論で多角的に検討する	・立場を明確にして、適切な根拠とともに意見を述べる。 ・互いの立場や考えを尊重しながら話し合う。	1 討論のテーマを決め、情報を集める。 2 立場を決めて、考えをまとめる。 3 グループで討論する。 4 討論を振り返る。 5 学習を振り返る。	・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。 ○この単元に出てくる語句を理解して活用できるようになる。	・「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。 ・「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめている。	・進んで互いの立場や考えを尊重し、学習の見通しをもって討論しようとしている。

11	音読を楽しもう 月夜の浜辺	・抽象概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ○詩の構成や表現の効果について考える。	1 全文を通読する。 2 詩を声に出して読む。 3 表現に着目し、その効果について考える。 4 言葉の響きやリズムを味わいながら朗読する。	・抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ○この単元に出てくる語句を理解して活用できるようになる。	・「読むこと」において、詩の構成や表現の効果について考えている。	・進んで表現の効果について考え、今までの学習を生かして詩を朗読しようとしている。
11	季節のしおり 秋	・抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。	・秋の行事・暦に関わる言葉や、秋の情景を詠んだ詩歌などを味わい、伝統的な言語文化に親しむ。	・抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ○この単元に出てくる語句を理解して活用できるようになる。		・伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして、積極的に語感を磨き、言語文化を大切にしようとしている。
11	源氏と平家 音読を楽しもう 平家物語	・作品の特徴を生かして朗読し、古典の世界に親しむ。 ・登場人物の言動の意味を考え、そこに表れたものの見方や考え方を捉える。	1 「源氏と平家」の資料を読み、「平家物語」の主要な人物や主な戦いについて知る。 2 「平家物語」の概要と文章の特徴を知る。 3 冒頭部分を音読し、独特の調子とリズム、言葉の響きを味わう。 4 冒頭部分の現代語訳を読み、「平家物語」を貫く「無常観」のイメージをもつ。 5 作品を貫く「無常観」と重ねて冒頭部分を朗読する。	・作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。 ・現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。 ○この単元に出てくる語句を活用できるようになる。		・進んで古典に表れたものの見方や考え方を知り、学習課題に沿って朗読しようとしている。
11	扇的の―― 「平家物語」から	・作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しむ。 ・現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知る。 ・登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈する。	1 全文を通読する。 2 「平家物語」の冒頭部分と「扇的」を繰り返し朗読する。 3 登場人物の言動から、心情を考える。 4 読み取ったことを基に自分の考えを述べる。 5 学習を振り返る。	・作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。 ○この単元に出てくる語句を理解して活用できるようになる。	・「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。	・進んで登場人物の言動の意味について考え、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。
11	仁和寺にある法師 ――「徒然草」から 「書く」人物の特徴を捉えて論じよう	・古典の文章を朗読してその表現に慣れ、作品を読み味わう。 ・登場人物の行動に着目し、作者のものの見方や考え方について考える。	1 全文を通読する。 2 「徒然草」の冒頭部分と「仁和寺にある法師」の原文を朗読する。 3 本文を読み、内容をまとめる。 4 法師と同じような勘違いをした経験がないかを踏まえて、考えたことを話し合う。 5 学習を振り返る。 6 人物の特徴を捉えて、文章にまとめる。 7 文章を友達と読み合い、学習を振り返る。	・作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。 ・現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。 ○この単元に出てくる語句を理解して活用できるようになる。	・「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。 ・「書くこと」において、伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。	・積極的に考えたことを知識や経験と結び付け、学習の見通しをもって登場人物について論じる文章を書こうとしている。
11	漢詩の風景	・漢詩を朗読し、独特の言葉遣いや調子を生かして読み味わう。 ・漢詩に歌われている情景を想像し、いにしへの人の心情に触れる。	1 全文を通読する。 2 漢詩の特徴を生かして朗読する。 3 解説を手がかりに、漢詩を読み味わう。 4 好きな漢詩を選び、その理由を伝え合う。 5 学習を振り返る。	・作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。 ○この単元に出てくる語句を理解して活用できるようになる。	・「読むこと」において、観点を明確にして漢詩を比較するなどし、漢詩の構成や表現の効果について考えている。	・読んで作品の特徴を生かして朗読し、学習課題に沿って好きな漢詩を選び、その理由を述べようとしている。
	君は「最後の晩餐」を知っているか 「最後の晩餐」の新しさ 4 時間	・文章における具体と抽象の関係を理解する。 ・観点を明確にして文章を比較し、その分析を基に構成や表現の効果を考える。	1 全文を通読する。 2 「君は『最後の晩餐』を知っているか」の内容を捉える。 3 文章を比較して、構成や表現の特徴を捉える。 4 考えたことを文章にまとめる。 5 学習を振り返る。	・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。 ・情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。 ○この単元に出てくる語句を理解して活用できるようになる。	・「読むこと」において、目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得て、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。	・粘り強く観点を明確にして文章を比較し、今までの学習を生かして考えたことを文章にまとめようとしている。

	12	魅力を効果的に伝えよう鑑賞文を書く	・語感を磨き、作品の魅力を語る語彙を豊かにする。 ・自分が感じた魅力が読み手に伝わるように、表現の効果を考えて書く。	1 作品を鑑賞する。 2 表現の効果を考える。 3 鑑賞文を書く。 4 文章を読み合い、意見交換をする。 5 学習を振り返る。	・抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ○この単元に出てくる語句を理解して活用できるようになる。	・「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。 ・「書くこと」において、表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見だしている。	・進んで表現の効果を考えて描写し、今までの学習を生かして鑑賞文を書こうとしている。
	12	漢字に親しもう5	・第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。	1 新出漢字を確認する。 2 練習問題に取り組む。	・第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ○この単元に出てくる語句を理解して活用できるようになる。		・学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
	12	文法への扉2 走る。走らない。走ろうよ。	・単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解する。	1 P187の導入や解説、P238文法2「①活用」を読み、「活用」の意味や用語について理解する。 2 P239文法2「②用言の活用 1 動詞の活用」を読み、動詞の活用について理解する。 3 P241文法2「②用言の活用 2 形容詞・形容動詞の活用」を読み、形容詞・形容動詞の活用について理解する。	・単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解している。 ○この単元に出てくる語句を理解して活用できるようになる。		・今までの学習を生かして、積極的に単語の活用について理解しようとしている
	12	研究の現場にようこそ 日本に野生のゾウやサイがいた頃 クモの糸でバイオリン 読書案内 本の世界を広げよう	・本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かす。 ・文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりする。	1 「研究の現場にようこそ」を通読する。 2 「クモの糸でバイオリン」を通読する。 3 感想を伝え合う。 4 P191「本の世界を広げよう」を参考に、今後読みたい本を考える。	・本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。 ○この単元に出てくる語句を理解して活用できるようになる。	・「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。	・本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを進んで知り、今までの学習を生かして感想を伝え合おうとしている。
	12	季節のしおり 冬	・抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。	・冬の行事・暦に関わる言葉や、冬の情景を詠んだ詩歌を味わい、伝統的な言語文化に親しむ。	・抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ○この単元に出てくる語句を理解して活用できるようになる。		・伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして、積極的に語感を磨き、言語文化を大切にしようとしている。
【2学期の評価材料】 「知識・技能」 ①積み重ねテスト（語彙・漢字・文法・表現技法・古文漢文の基礎知識等） ②積み重ね総合テスト ③再テスト ④暗唱テスト ⑤ワークシート 等 「思考・判断・表現」 ①積み重ねテスト（読解・表現） ②積み重ね総合テスト ③聞き取りテスト ④話し合い活動 ⑤授業観察 ⑥ワークシート ⑦ワークシート以外の提出物（作品・ロイロでの提出等） 等							
3 学 期	1	走れメロス 「書く」作品の魅力をまとめ、語り合おう	・抽象的な概念を表す語句が、作品に与える印象を考える。 ・登場人物の人物像や表現の効果などに着目して、作品の魅力を考える。	1 全文を通読する。 2 作品の設定と構成を押さえる。 3 場面の展開に即して人物像を読み取る。 4 作品の魅力をまとめ、語り合う。 5 学習を振り返る。	・抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ○この単元に出てくる語句を理解して活用できるようになる。	・「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。 ・「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。	・粘り強く登場人物の言動の意味などについて考え、学習の見通しをもって作品の魅力を文章にまとめようとしている。

1	漢字に親しもう6	・第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読む。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使う。 ・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	1 新出漢字を確認する。 2 練習問題に取り組む。	・第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。		・学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
1	文法への扉3 一字違いで大違い	・単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解する。	1 P215の導入や解説を読み、付属語の働きについて考える。 2 P244文法3「①付属語」を読み、付属語の種類について理解する。 3 P244文法3「②付属語の種類1 助動詞」を読み、助動詞の働きについて理解する。 4 P246文法3「②付属語の種類2 助詞」を読み、助詞の種類と働きについて理解する。	・単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解する。 ○この単元に出てくる語句を理解して活用できるようにする。		・今までの学習を生かして、積極的に助詞や助動詞の働きについて理解しようとしている。
2	構成や展開を工夫して書く 「ある日の自分」の物語を書く	・これまでの学習を振り返り、文章の構成や展開について理解を深める。 ・場面の展開が明確になるように、構成を工夫する。	1 これまでに学習してきた物語や小説を振り返る。 2 題材を考える。 3 物語の設定とあらすじを考える。 4 構成や展開を工夫して物語を書く。 5 友達が書いた物語を読み、助言し合う。 6 学習を振り返る。	・話や文章の構成や展開について理解を深めている。 ○この単元に出てくる語句を理解して活用できるようにする。	・「書くこと」において、伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。 ・「書くこと」において、表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。	・粘り強く文章の構成や展開を工夫し、学習の見通しをもって物語を創作しようとしている。
2	言葉3 話し言葉と書き言葉	・話し言葉と書き言葉の特徴について理解する。 ・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	1 導入の例文から、話し言葉と書き言葉の違いについて考える。 2 音声の特徴から話し言葉を捉え、文字の特徴から書き言葉を捉える。	・話し言葉と書き言葉の特徴について理解している。 ○この単元に出てくる語句を理解して活用できるようにする。		・今までの学習を生かして、積極的に話し言葉と書き言葉の特徴について理解しようとしている。
2	漢字3 送り仮名	・第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読む。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使う。	1 導入の例から、送り仮名が漢字の読みを明らかに示すために付けられていることを確認する。 2 教材文を読み、送り仮名の付け方の主な原則と例外について理解する。 3 P223の練習問題に取り組む。	・第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。		・学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり、書いたりしようとしている。
2	国語の学びを振り返ろう テーマを決めて話し合い、壁新聞を作る	・一年間の学びを振り返り、国語を学ぶ意義を考える。 ・読み手のことを考え、構成や表現を工夫し、わかりやすく情報を伝える。	1 グループで話し合い、壁新聞のテーマを決める。 2 壁新聞の内容を話し合う。 3 壁新聞を作る。 4 壁新聞を読み合い、感想を伝え合う。 5 学習を振り返る。	・話や文章の構成や展開について理解を深めている。 ○この単元に出てくる語句を理解して活用できるようにする。	・「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめている。 ・「書くこと」において、伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。 ・「書くこと」において、読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えている。	・粘り強く文章の構成や展開を工夫し、今までの学習を生かして壁新聞を作ろうとしている。
3	木	・抽象的な概念を表す言葉などに着目して詩を読む。 ・作者のものの見方を捉え、自分の考えを広げる。	1 詩を通読する。 2 詩の中の印象に残った表現を挙げ、どんな印象を受けたかを話し合う。 3 表現の意味を考える。 4 作者のものの見方について語り合う。	・抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ○この単元に出てくる語句を理解して活用できるようにする。	・「読むこと」において、詩を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。	・進んで詩を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、学習課題に沿って作者のものの見方について話し合おうとしている。

3	<p>学習を振り返ろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章を比較して読み、構成や展開、表現の効果について考える。 ・小説を読み、考えたことを文章にまとめ、伝え合う。 ・根拠の適切さや論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめる。 ・考えが明確になるように適切な根拠を選び、構成を工夫して話す。 ・相手や目的に応じて、気持ちや要件が的確に伝わるように表現を工夫して電子メールを書く。 ・読み手の立場に立って、効果を考えながら文章を整える。 	<p>1 P256の小説を読み、学習課題に取り組む。</p> <p>2 P257の提案を聞き、学習課題に取り組む。</p> <p>3 P258のメールの下書きを読み、学習課題に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づいている。 ・敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使っている。 ・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。 <p>○この単元に出てくる語句を理解して活用できるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定のしかたなどを捉えている。 ・「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。 ・「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫している。 ・「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで登場人物の設定のしかたや根拠の適切さを考え、今までの学習を生かして、学習課題に取り組もうとしている。
---	--	---	--	---	--

【1学期の評価材料】

「知識・技能」 ①積み重ねテスト（語彙・漢字・文法・表現技法・古文の基礎知識等） ②再テスト ③ワークシート 等

「思考・判断・表現」 ①積み重ねテスト（読解・表現） ②聞き取りテスト ③スピーチ等の活動 ④授業観察 ⑤ワークシート ⑥ワークシート以外の提出物（作品その他） 等